



「遊びのお店」を通して改めて感じた『なかよし活動』のよさ

校長 西尾 正代

毎年子供たちが楽しみにしている児童会行事「遊びのお店」を12月11日に行いました。今年度はコロナ禍で、なかよし遊び（昼休みになかよしグループで遊ぶ活動）を全く行えなかったため、11月末になかよしグループの顔合わせから始めました。グループごとに、限られた時間の中で準備ができ、なおかつ楽しくてあまり密にならない遊びを考えました。児童会と6年生は、取組期間中も当日も、全体のよさだけでなく、名前を呼んで一人一人のよい姿を全校に紹介してくれました。自分の名前を呼ばれた子は嬉しそうに微笑み、周りの仲間たちから温かい拍手をもらっていました。当日は、みんなで協力しながら店番をしたり、異学年のペアで楽しくお店を回ったりして、スローガンの通り、協力・笑顔・やさしさがあふれる遊びのお店となりました。遊びのお店の取組を通して、全校のみんなの心が一つになったように感じました。そして、改めて子供たちも職員も『なかよし活動』のよさを実感するとともに、こんなにも心の通い合うすてきな遊びのお店をつくり上げることができたことに自信をもつことができたのではないかと思います。



【お知らせ・お願い】

- (1) 運動会後に来年度に向けての保護者アンケートを取らせていただきました。午前開催を希望される方が63.5%、一日開催を希望される方が36.5%という結果となり、PTA執行委員の皆さんとも協議させていただきました。それらをもとに、希望者が多いことと来年の夏までにコロナが収束する見通しがもてないことから、来年度の運動会は午前開催とさせていただきますことにしました。よろしくお願いします。
- (2) 先日、6年生はiPadの開封式を行いました。自分専用のiPadを手にして、「大切に使いたい」「授業で活用したい」「将来のために使いこなせるようになりたい」等と話し、今後に向けてやる気満々でした。下級生たちも、自分たちのiPadが早く来ないかと待ち遠しいようです。
- (3) どの学年も、2学期中に2学期末までに学ぶべき学習内容を終わられる見通しがたっています。暑い夏にも6時間授業を継続し、運動会以降には7時間授業（7時間目はクラブ・委員会のみ）を実施してきた結果、年間の標準授業数も確保できそうです。今後、臨時休業がないことを祈るばかりです。
- (4) 新型コロナウイルスが身近に迫ってきている怖さを感じています。学校でもさらに気を引き締めて感染防止に努めて参ります。各ご家庭においても、大人数の飲食を避ける等の感染防止を引き続きお願いします。